



あおい

2025

郡山市立守山小学校
令和7年7月2日
学校だより No. 15

7月5日は「校地内交通安全の日」

この日に何が起こったのかを覚えていらっしゃいますか。郡山市に勤務する教育関係者はわかりますが、たぶん、一般の方々はお忘れになったと思います。

平成24年7月5日、児童が密集して登校してくる7時45分頃、市内A小学校の敷地内で2年生のB君（7）が敷地内に入ってきた車にひかれた。B君は、頭を強く打ち、病院に救急搬送されたが死亡した。

警察の調べによると、車を運転していたのはA小学校の保護者であるCであり、自分の子どもの忘れ物を届けにきたという。なお、B君は靴の紐を結び直すためにしゃがんでいたらしく、Cの乗っていたワゴン車からは見えにくく、B君に気がつかなかった、とのこと。

この日、A小学校に勤務していた先生と健康診断を受けていましたが、始まった直後に、受付の方に何か話しかけられ、文字通り「血相を変えて」出ていきました。なんだろうな、と思いながらその後も受診し学校に行ってみると「たいへんなことが起こった」と教頭先生が教えてくださいました。今でも鮮明に記憶しております。

この事故が発生して、市内すべての学校で車と歩行者の通り道を分離する措置がとられました（歩車分離）。それまでは正門を開け、校地内に乗り入れができていた学校では、子どもたちが登校し終わると正門を閉めて下校の時に開けるようになりました。また、いたるところに「校地内乗り入れ禁止」の立札を表示して来校者に協力を仰ぐとともに、駐停車できるスペースを見つけてそこから徒歩で来校してもらうようにしました。

改めて、本校の周辺道路は道幅が狭く、新たに乗り降りするスペースを見つけることも困難な状況です。まずは、車の速度をじゅうぶんに落として、乗り降りする際には後方を確かめるようお願いいたします。

